

科目名	<b>臨床心理学Ⅱ</b>	
担当者	片平眞理 /KATAHIRA Mari	
科目情報	心理臨床・医療臨床 / 選択 / 後期 / 講義 / 2単位 / 2年次	
科目概要	授業内容	心理療法に関する基礎的な知識や技法について学ぶ。 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む)の理論及び方法について学び、システム論による学校臨床という視点を理解する。
	到達目標	各種の心理療法の特徴、及び共通点について理解する。 学校における児童生徒への支援についての理論と方法を学び、理解する。
授業計画	(1) I 臨床心理学の実践活動 (2) II 心理療法 1) クライアント中心療法 (3) 2) 精神分析的心理療法 (4) 3) 行動療法 (5) 4) 認知行動療法 (6) 5) 家族療法 (7) ナラティブ・セラピー (8) 6) 森田療法・内観療法 (9) (2)～(9)のいずれかの授業中に心理療法に関連する課題を提示しレポートを課す。当該の週に計画された内容は翌週に講義する。 (10) III システム論からみた学校臨床 1) システムとしての学校 (11) 2) 教育相談・連携 (12) 3) 子どもの「問題」と援助 (13) 4) 子どもの「問題」と援助 (14) 5) 危機介入 (15) IV 社会的専門性	
自学自習	事前学習	参考文献を読み、分からない用語を調べておく。
	事後学習	授業で用いた教材を読み返し、疑問点を整理する。
使用教材・参考文献	【教】 下山晴彦編『よくわかる臨床心理学[改訂新版]』ミネルヴァ書房 2009年 ISBN 978-4-623-05435-0 【参】 吉川悟編『システム論からみた学校臨床』金剛出版 1999年 ISBN4-7724-0624-7 大河原美以『怒りをコントロールできない子の理解と援助』金子書房 2004年 ISBN4-7608-2161-9	
成績評価方法と基準	<基準> 各種の心理療法の特徴を理解し、また学校現場における臨床活動を学校システムという視点で捉えることができれば合格とする。 <方法> 授業中のレポート (30点)、終了試験 (70点)。	
備考		